

□ 情報提供項目

新型コロナウイルスのワクチン接種やあまちゃんマラソンなどのイベントなどについて市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

記者 コロナの4回目接種だが、基礎疾患の人はどのように把握するのか。

市 本人から申し出てもらう。市の広報などで周知していきたい。

記者 今日から津波浸水想定の説明会は、県の説明と市からの話があるということだが、市民にどのような話をする予定か。また、今後久慈市はどのような対応を取るのか状況を教えてほしい。

市 本日から木曜日まで計4日間説明会となる。浸水想定が公表になったことを受けて、住民の方々には避難をいただくことを前提にお願いすることになる。市の取り組みとしては、総合防災ハザードマップの更新を行い、年度末に全戸配布予定である。また避難訓練は、令和3年度は内閣府の浸水想定を基に津波避難訓練を行ったが、令和4年度は県の浸水想定を基に10月中旬を目標に実施したいと考えている。さらに、避難場所の見直しを進めているが、環境整備や資機材の確保など引き続き計画的に進めていきたい。また、津波避難計画の策定を検討し、避難施設の整備なども必要に応じて検討していく。自主防災組織の結成だが、地域防災力の向上ということで、市内全域の結成を目指す。市補助金もあるので、活用して活動促進に努めたい。最後に、防災士の育成だが、今年度育成講座を市で開催する予定である。各町内会に防災士を1名程度配置したいと考えている。

記者 ハザードマップは新しい想定で発行ということか。いつ頃発行になるか。

市 新しい想定で発行になる。具体的なものはお伝え出来ないが、早めに取り決めたい。

記者 洋上風力発電だが、先月、東北電力とフランス企業で事業実験を始めると発表があったが、久慈市との関係性がわからないので、お話ししたい。

市 市は、市で風況調査や岩盤調査などを行っている。東北電力は今年度1年かけて独自にデータ収集すると聞いている。調査を受けると説明を受けたが、具体的の中身は承知していない。

記者 東北電力と市が連携する可能性があるということか。別々に行うということか。

市 特定の企業と連携は考えていない。3月末に関連の会議を市で行った際には、20社を超える企業に参加いただいた。3月に参加した企業のひとつであり、連携は考えていない。

記者 市は、今年度どのように風力関係を行っていくか。

市 昨年度から3カ年度事業で詳細の調査事業に関わっている。漁業関係者との調整や送電網など連携システムを国がどう考えているかなど、情報収集しながら、積極的に動いていきたい。どういった分野であれば地元の企業が参画できるかなど、県と連携を取りながら勉強していきたい。